

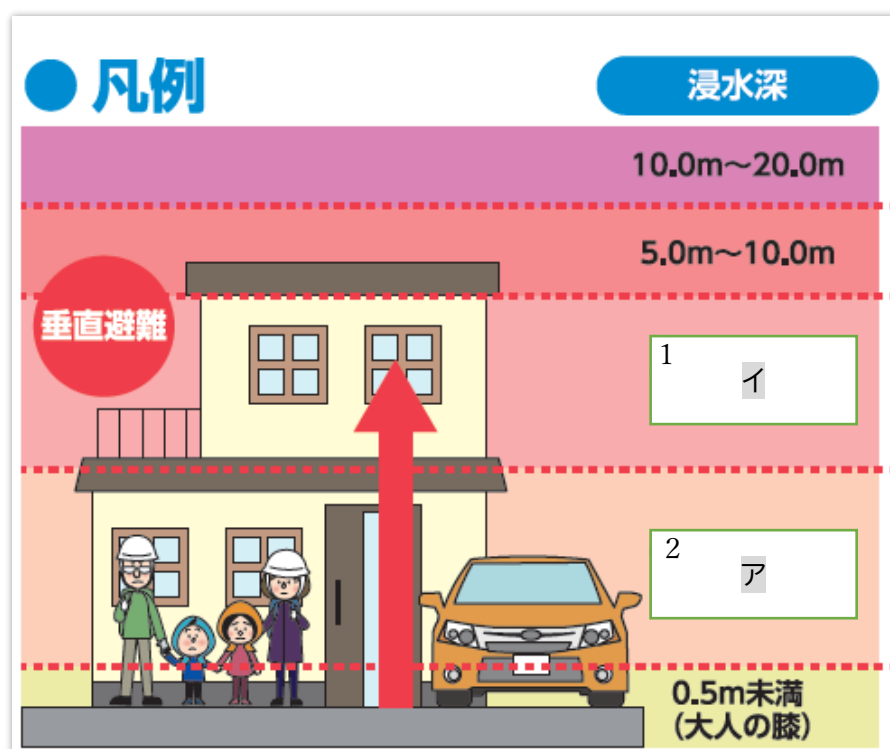
問1 < >に数字を入れて文章を完成させてください。

洪水ハザードマップの想定は、国が公表した

「想定しうる最大規模(概ね<1000>年に1度)の大雨」を想定した

浸水の範囲と深さを基に作成しています。

問2 次の図に熊谷市の洪水ハザードマップに合わせて語句を選び記号を空欄に入れてください。



解説

3mがだいたい2階の床くらいの高さです。5mは3階の床くらいです。

語句

- ア 0.5m~3.0m未満
- イ 3.0m~5.0m 未満
- ウ 0.5m~1m未満
- エ 0.5m~5.0m未満

問3 次の文章のうちから、明らかな誤りを含むものを①~③の中から1つ選んでください。

回答:誤りは

①

解説:熊谷市では避難所の地域指定はしていませんので、開設している避難所のうち、安全にたどり着ける避難所をご利用ください。また、避難所以外でも自宅が安全な場所にあれば在宅避難も可能ですし、安全な地域に住む知人等の家に避難することも適切な避難行動の一つです。

- ①水害時は、住む地域によって割り当てられた避難所に必ず行かなくてはならない。
- ②水害時、避難所を利用する際は、移動を始める前に、開設されているかどうかを市ホームページ等で確認する。
- ③自宅の浸水想定を確認したら、浸水深が 3.0m~5.0mだった。自宅は平屋なので、「在宅避難ではなくて、早めに立ち退き避難をしようね」と、家族で話し合った。

番

問4 次の空欄に入る語句を選び記号を空欄に入れてください。

警戒レベルと防災気象情報の関係

警戒レベル	市からの情報	住民がとるべき行動	警報等	指定河川洪水予報
高	5 緊急安全確保 ※可能な範囲で発令	災害がすでに発生しており、 命を守るための最善の行動をとる	大雨特別警報	氾濫発生情報
↑ 危険度 ↓	4 1 ウ	危険な場所から速やかに避難 ・公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	土砂災害 警戒情報	氾濫危険情報
	3 2 エ	高齢者等は速やかに避難 ・避難に時間を要する人(高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	大雨警報 洪水警報	氾濫警戒情報
	2 1	解説:避難情報は、「高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保」の全てをまとめて呼ぶ名 す。避難勧告は令和3年の災害対策基本法の改正で廃止になりました。「避難勧告が出 避難しよう!」と考えている方はご注意ください!		

語句 ア 避難情報 イ 避難勧告 ウ 避難指示 エ 高齢者等避難

問5 次の文章のうちから、明らかな誤りを含むものを①～③の中から1つ選んでください。

回答:誤りは

①

番

関東北西縁断層帯地震が起こると、必ず熊谷市全体で震度7の揺れが発生します。

①

阪神・淡路大震災で亡くなった方の多くが家屋の倒壊や家具による圧死なので、

②

家具の固定を積極的に実施してください。この地震は、首都直下地震の一つです。

③

解説:関東平野北西縁断層帯は、群馬方面や、さいたま市方面まで伸びています。そのため、断層帯のどこが震源になるかによって状況が変わってきます。熊谷市防災ハザードマップに掲載されているのは、破壊開始点(中央)のシミュレーションです。また、熊谷市の中でも揺れの大きさには差があります。

問6 < >に言葉を入れて文章を完成させてください。

家庭での備蓄は最低3日分、できれば1週間分を家族の人数に合わせて行ってください。
全てを長期保存食などで用意するのは大変ですので、
普段から多めに買って、使ったら使った分だけ買い足して、
家の中にストックが常にあるようにする、

< ローリングストック >という方法がおすすめです。

解説:
ローリング(回転) ストック(在庫)
という意味で、多く買って置き、
使っては在庫を追加し、余剰分を
常に確保する方法です。